

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価(※)
秋川ファーマーズセンター	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 (3年間)	環境経済部 農林課 農政係	平成25年度は大雪などあり、急激な気候変動により、野菜の収穫に大きな打撃を受け、品数の調整に大変苦慮した1年間であった。このような条件のもと、集客力の向上と売上げの増加を図るため、新鮮・安心・安全な農畜産物の提供を行うとともに、地場産野菜の漬物のような付加価値の高い商品の提供に努めた。また、生産者(会員)の増員の確保に努めた。その結果、安定した商品の提供を図ることができた。	<p><市民サービスの向上> 常に利用者の立場に立った接客で、利用者の意見・苦情に対する迅速対応は、利用者から高い評価を受けている。今後も引き続き利用者、生産者の連携の向上を期待する。</p> <p><経費削減の取組> ダンボールの再利用、節電、買い物袋持参の呼びかけによるレジ袋の削減など、今後も環境へ配慮した取組を続けるよう期待する。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 農畜産物の品質の向上や利用者対応については、適切に対応している。今後も、安心安全な農畜産物の安定供給に取り組むとともに、地産地消を推進する拠点として、天候に左右されにくい施設栽培や、農産物加工の販売などを導入し、あきる野農業の発展に取り組むため、農業者との連携をさらに強化する。</p>	A
「観光施設」 ・秋川橋河川公園	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光まちづくり活動課 秋川溪谷観光係	台風の影響で計画していた開園日数に達しなかったものの、利用者が多かった。一方、夏休み期間中などの繁忙期は、施設運営に要する職員の確保と適切な人員配置の達成が困難である場合がある。今後、新ソフトを導入し勤務体制の見直しを行う。	<p><市民サービスの向上> 利用者に対する事故防止の注意喚起、管理区域内外の清掃、近隣住民による花壇設置など、利用者と同隣住民に配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p><経費削減の取組> 利用者に配慮しながら、節電と節水に努め、経費削減に取り組んでいる。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 利用者数と収支状況を見てみると、利用者数については前年度比約5,000人の増加、収入についても増加している。収支は30,262千円の利益があり、利益増加の主な原因は、秋川溪谷周辺がメディアに多く取り上げられたことなどにより、利用者が増加したことが考えられる。河川公園は、武蔵五日市駅から徒歩5分という立地条件に加え、施設の規模や内容も充実していることから、特に夏休み期間中はバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多く盛況である。人員配置・人材育成などについては、1年間を通して考えれば適正な人員で効率良く運営しているものと評価できる。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候などにより施設の運営に必要な人員が大きく変動するため、より効率的かつ柔軟な人員計画を作成する必要がある。今後も引き続き積極的なサービスを展開し、更なる利用者の増加を図り、あきる野市内により多くの観光客を呼び込む取組を推進する必要がある。</p>	B

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価 (※)
「観光施設」 ・第1水辺公園リバー サイドパークの谷	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光商工課 観光商工係	平成25年度については、夏場の台風や悪天候の影響を受け、前年比に比べ入客数が減少した。しかし、下半期については、団体客の利用も増加しているので、今後についても天災等に備えつつ、団体客の利用促進を検討していく。 また、スタッフのサービス向上を図り、利用者に満足していただけるような環境整備を実施していく。	<p><市民サービスの向上> 利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。</p> <p><経費削減の取組> 利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 平成25年度においては、夏場の台風の影響を受け、入客数が前年度比90.2%となり、また、トイレの洋式化に伴う維持管理経費が増加し、収支のマイナスが1万3千円となった。しかし、下半期については、高校生や大学生のサークル活動の利用が目立ち、前年度比120.6%の入客数となったため、今後も、団体客等の利用客を増やし、当バーベキュー場の特色を生かした運営を行う必要がある。 また、バーベキュー場のホームページの充実や情報誌、新聞等を幅広く活用し、リピーター及び新規利用者の増大を図るよう努める。人員配置・人材育成等については、1年間を通して考えれば適正な人員で効率よく運営していると評価できる。しかしながら、他のバーベキュー施設同様、繁忙期や天候等により施設の運営状況が変動するため、年間を通じた運営計画が必要である。</p>	A
あきる野市観光協会					
「観光施設」 ・第4水辺公園秋川ふ れあいランド	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光商工課 観光商工係	平成25年度については、夏場の台風の影響を受け、前年比に比べ入客数が減少した。今後についても天災等に備えつつ、利用者に満足していただけるようスタッフ一同、サービスの向上に努める。	<p><市民サービスの向上> 利用者に対するトラブル防止や園内の清掃等利用者及び近隣住民にも配慮し、満足していただけるようサービスの向上に取り組んでいる。</p> <p><経費削減の取組> 利用者へ配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減に取り組んでいる。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 平成25年度においては、夏場の土・日曜日に悪天候が集中し、前年度比で89.4%まで落ち込んでいる。しかし、民間会社や学生のサークル活動などの団体客数が増加しているため、利用者に対して積極的なサービス提供を継続的に行うことでリピーターとして顧客の確保に努める必要がある。 また、バーベキュー場のホームページの充実や情報誌、新聞を幅広く活用し、秋川ふれあいランドの立地と特色を生かした集客方法を検討していく、サービス向上や経費削減意識の向上を図ることで新たな利用者を確保することが求められている。</p>	A
あきる野市観光協会					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価 (※)
「十里木・長岳観光施設」 秋川溪谷瀬音の湯	平成24年4月1日～ 平成27年3月31日 (3年間)	環境経済部 観光まちづくり活 動課 秋川溪谷観光係	第一に「安全・安心・清潔」をモットーとし、運営改善努力をしている。集客・宣伝促進活動により、利用者数・収支状況は良好に推移している。また、顧客満足度についても上向きになっていることから、今後もより一層の精進を惜しまない決意である。	<p><市民サービスの向上></p> <p>利用者への対応に工夫を加えたり、設備の改善を図るなど、市民サービスの向上に努めている。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>電気設備のLED化を促進するなど、経費削減に努めているが、引き続き、支出の精査に努める必要がある。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価></p> <p>施設全体の利用者数については、前年度比8,880人の増加となり、入浴者数については、前年度比4,771人の増加となった。収支状況については、収入が前年度比5,488千円の増加となり、支出が前年度比2,834千円の増加となっている。また、市へは納付金として6,403千円が納められた。サービスなどの向上については、市内イベントにおける足湯の設置、縁側ギャラリーの活用、インターネットを活用した集客、直売所の充実などに努めており、市内外へのPRに努めている点は評価できる。</p> <p>開業8年目を迎える平成26年度においても、より一層のサービス向上と更なる利用者数の拡大を目標に、適正な人員の確保と経費の抑制に努め、健全な運営を行っていくよう監視していく。また、昨年度に引き続きイベントの実施などによる積極的な地域活性化への取組を期待する。</p>	B
新四季創造株式会社					
「総合福祉センター」 秋川ふれあいセンター	平成21年4月1日～ 平成26年3月31日 (5年間)	健康福祉部 生活福祉課 庶務計画係	秋川ふれあいセンターは、平成6年4月から業務を開始し、既に20年が経過しており、経年劣化により雨漏りや設備の故障等が発生することがありますが、不具合のある箇所については、可能な限り修理や改善等を行い、利用しやすい施設とするため積極的に対策に取り組んでいます。今後も、施設や設備の管理をしっかり行い、利用者が快適・安全に利用できるよう努めると共に、施設利用について広く周知に努め、利用の増進を図ります。	<p><市民サービスの向上></p> <p>施設の経年劣化に伴い、空調や給水関係に故障が発生しており、その都度対応に苦慮されていますが、利用者への迅速かつ丁寧な対応など、引き続き利用者の立場に立ったサービスに努めていただきたい。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>デマンド監視装置の設置やゴーヤによるグリーンカーテンの設置により室温を抑えるなど、引き続き経費削減に取り組んでいただきたい。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価></p> <p>光熱水費の経費削減や効率的な運営などにより、引き続き更なる利用率の向上に努めていただきたい。</p>	A
社会福祉法人 あきる野市社会福祉 協議会					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価(※)	所管課による評価(※)	総合評価(※)
「心身障害者通所授産施設」 ・希望の家 ・ひばり分室 社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 障がい者支援課 障がい者支援係	地域の方々や多くのボランティアの協力を得て、地域の施設として様々な活動を実践することにより、利用者がより多くの経験を得ることができるよう努めるとともに、個々の利用者に対応した個別支援計画を実践することにより、それぞれの利用者の状況に合ったサービスの提供を行った。 次年度についても、利用者に向けた個別対応を行うとともに、保護者との連絡を密にすることで、より高い信頼・評価を得ることができるよう質の向上を図っていく。	<市民サービスの向上> 地域及びボランティアの協力の下で、通所者に対し個別対応などの献身的な指導を行っており、また、保護者とは連絡帳などで意見・要望等の把握に努めており、利用者及び保護者との信頼関係の中で、事業運営に努めていることが伺え、高く評価できる。 <経費削減の取組> 人件費や光熱水費などの維持管理費の縮減に取り組んでおり、高く評価できる。 <指定管理者の管理に係総括的な評価> 人件費や維持管理費の節減に向けた取組、サービス面で一人ひとりに目を向けた個別支援、毎月に保護者会を開催するなど、丁寧な取組は高く評価できるものである。今後、事業を実施するうえで、より一層の質の向上を目指すとともに利用者の増加に向けた取組など、課題の克服に向けた取組を進めることを願います。	A
「高齢者在宅サービスセンター」 ・萩野センター	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係	1年目を終えて、通所のご利用者だけでなく、一般市民の方々がセンターに来ていただけたようになったことは、高齢者在宅サービスセンターの役割や存在を知っていただく上で大きな進歩だったと実感しています。今後は異世代交流なども取り入れながら、地域に密着したセンターを目指します。 広報活動にも力を入れて、出来るだけ多くの方にセンターの存在と役割を知っていただけるよう工夫して行きたいと思っております。	<市民サービスの向上> 昼食の改善や利用日ごとに声かけや様子を観察するなど、利用者の満足度を把握し、利用者へのサービスの向上に努めています。また、パンフレットの作成や玄関前に看板を設置するなど、センターの活動内容の周知やげんき応援事業に多くの市民の方が参加するなど、地域の高齢者福祉における拠点としても機能しているため評価できます。 萩野センターは、一般市民の方の利用が多いとのことなので、今後も引き続き啓発活動等を行い利用者の増加を図るとともに、事業内容を創意工夫により改善し市民サービスの向上に努めるよう願います。 <経費削減の取組> コピー用紙の裏面利用やリサイクル品を利用して事業運営するなど、経費の削減に努めている。また、施設管理においても、電気の使用量の削減や施設管理経費の抑制など、経費削減に努めているため評価できます。 <指定管理者の管理に係総括的な評価> 萩野センターは、げんき応援事業に多くの市民の方が参加しているので、今後もパンフレットの作成や玄関前への看板の設置などの取り組みを継続し、利用者の増加に努めるようお願いいたします。施設の維持管理については、指定管理者の内部努力により、効率化が図られ経費削減が図られていますので、引き続き経費削減に努めるよう願います。 自主事業については、事業の収支バランスの適正化に努める必要がありますが、事業を数多く実施しており、市民サービスの向上に大きく貢献しています。	A

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
<p>「高齢者在宅サービスセンター」 ・開戸センター</p>	<p>平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)</p>	<p>健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係</p>	<p>1年目を終えて、通所のご利用者だけでなく、一般市民の方々がセンターに来ていただけるようになったことは、高齢者在宅サービスセンターの役割や存在を知っていただく上で大きな進歩だったと実感しています。今後は異世代交流なども取り入れながら、地域に密着したセンターを目指します。</p> <p>開戸は地域性なのか、げんき応援事業にて一般の方からの申し込みがほとんどない月が多かったのですが、企画を工夫することで少しずつ利用される方が増えてきました。通所の利用率が高い開戸センターなので、次年度も地域に密着したセンターになれるよう運営していきます。</p>	<p><市民サービスの向上> 昼食の改善や利用日ごとに声かけや様子を観察するなど、利用者の満足度を把握し、利用者へのサービスの向上に努めています。また、パンフレットの作成や玄関前に看板を設置するなど、センターの活動内容やげんき応援事業の周知を図っていますので評価します。</p> <p>今後も引き続き啓発活動等を行い利用者の増加を図るとともに、事業内容を創意工夫により改善し市民サービスの向上に努めるようお願いします。</p> <p><経費削減の取組> コピー用紙の裏面利用やリサイクル品を利用して事業運営するなど、経費の削減に努めている。また、施設管理においても、電気の使用量の削減や施設管理経費の抑制など、経費削減に努めているため評価できます。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 利用者数については、概ね良好ですが、今後もパンフレットの作成や玄関前への看板の設置などの取り組みを継続し、利用者の増加に努めるようお願いします。施設の維持管理については、指定管理者の内部努力により、効率化が図られ経費削減が図られていますので、引き続き経費削減に努めるようお願いします。</p> <p>自主事業については、通所の利用者が多く利用していますが、開戸センターが地域の高齢者福祉における拠点として機能するように、地域の市民の方の利用が多くなるよう努力するとともに、事業の収支バランスの適正化に努める必要があります。</p>	<p>A</p>

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「高齢者在宅サービスセンター」 ・五日市センター 医療法人財団 暁	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	健康福祉部 高齢者支援課 高齢者支援係	<p>1年目を終えて、通所のご利用者だけでなく、一般市民の方々がセンターに来ていただけるようになったことは、高齢者在宅サービスセンターの役割や存在を知っていただく上で大きな進歩だったと実感しています。今後は異世代交流なども取り入れながら、地域に密着したセンターを目指します。</p> <p>また、介護職員初任者研修では、高齢者施設が多いあきる野市で展開することは非常に意義のあることであり、出来るだけ多くの市民の方に福祉のファーストステップとして広く活用していただけるよう、周知活動や研修内容の質の向上に努めます。</p>	<p><市民サービスの向上> 昼食の改善や利用日ごとに声かけや様子を観察するなど、利用者の満足度を把握し、利用者へのサービスの向上に努めています。また、パンフレットの作成や玄関前に看板を設置するなど、センターの活動内容やげんき応援事業の周知を図っていますので評価します。 今後も引き続き啓発活動等を行い、利用者の増加を図るとともに、事業内容を創意工夫により改善し市民サービスの向上に努めるようお願いいたします。</p> <p><経費削減の取組> コピー用紙の裏面利用やリサイクル品を利用して事業運営するなど、経費の削減に努めている。また、施設管理においても、電気の使用量の削減や施設管理経費の抑制など、経費削減に努めているため評価できます。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 五日市センターは、駅の近くで利便性が高いことから、げんき応援事業等を更に創意工夫し、多くの市民の方が参加できるようにお願いします。また、パンフレットの作成や玄関前への看板の設置などの取り組みを継続し、利用者の増加に努めるようにお願いします。施設の維持管理については、指定管理者の内部努力により、効率化が図られ経費削減が図られていますので、引き続き経費削減に努めるようお願いいたします。 自主事業については、介護職員初任者研修やげんき応援事業を実施しており、市民サービスの向上に大きく貢献していますが、事業の収支バランスの適正化に努める必要があります。</p>	A
「産業文化複合施設」 あきる野ルピア 株式会社 秋川総合開発公社	平成23年4月1日～ 平成26年3月31日 (3年間)	教育部 生涯学習スポーツ課 生涯学習係	<p>全体的に平日昼間の利用が少ないため、ルピア塾講座（子どもからお年寄りまで楽しく気楽に参加してテーマに沿った内容で実施）として、利用者及び収入の向上に努めている。</p>	<p><市民サービスの向上> 窓口やロビー等での施設利用者とのコミュニケーションを図るとともに、講演会の参加者や主催事業の講師などに対してアンケート調査を実施し、来場者や施設利用者のニーズに対応することで満足度の向上を図っている。また、独自のホームページを充実させるなど、リアルタイムの情報発信を行い、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っている。</p> <p><経費削減の取組> 節電による経費の節減が図られているが、人件費の抑制などの課題がある。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 各種の事業の開催によって施設利用の促進が図られ、多くの利用者を獲得できているが、支出が収入を大きく上回っており、人件費の抑制など、取組の全体的な改善が課題である。</p>	B

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「市民文化ホール」 秋川キララホール	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	教育部	悪天候(大雪)に伴う臨時休館等の要因はあったものの、延べ利用者数は計画の9割程度に止まり、事業面では主催・自主事業収入とも計画を下回る結果となりました。ホールへ足を運んでもらう仕組みづくりとサービスの一層の充実により利用率の向上を目指します。集客面では会員の加入促進等コアファンの囲い込みと、券売手法の多様化に努めてまいります。	<p><市民サービスの向上> ランチタイムコンサート等の無料の自主事業を5本実施し、市民が気軽に音楽鑑賞できる機会を提供しているほか、優先予約や優待価格でチケットを購入できる会員制度を設立するなど、市民サービス向上への取り組みは評価できます。今後も市民サービスの充実に努めて下さい。</p> <p><経費削減の取組> 光熱水費や消耗品等のランニングコストを抑える取組や、職員のフレキシブルなシフト勤務による人件費の抑制により経費全体の削減が実現できています。今後も継続して取り組んで下さい。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 事業収入等の確保に向けて、市民のニーズに基づく話題性のある魅力的なコンサートの実施や、チケット販売における広報宣伝活動の強化および継続的な情報発信、また、来館者サービスの強化によるリピーターの獲得など、抜本的な対策を講じる必要があります。</p>	B
秋川キララホール 運営共同事業体		生涯学習スポーツ課 生涯学習係			

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価（※）	所管課による評価（※）	総合評価 （※）
「体育施設」 五日市ファインプラザ	平成21年4月1日～ 平成26年3月31日 (5年間)	教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係	<p>今年度の総利用者数は 159,637 名となり、前年より 352 名の増加となりました。2月の2週にわたる大雪のため2月単月では前年約マイナス 1,000 名となっております。これを踏まえ前年の人数をオーバーできたことは非常に大きな成果だと考えております。</p> <p>自主事業の参加者も増加しており、市民の方への健康増進の提案が受け入れられている結果だと考えられます</p> <p>収支状況で収入面では、やはりこれも雪の影響で利用料収入は若干減少しました。しかしながら自主事業の教室収入は増加し、トータルでは前年の収入を上回ることができました。</p> <p>支出面で大きく注意したのは人件費と光熱水費です。必要以外の労働時間使用を極力回避しました。その結果、維持管理費は予算内に抑えることができました。</p> <p>次年度も省エネを継続し、無駄な支出を抑える運営をしていきたいと考えております。</p> <p>総括自己評価として、まず無事故で運営できたこと、利用者を増加させることができたことが一番の成果だと考えます。</p> <p>多くの市民の方に利用していただくことが、指定管理者の最大の使命であり、評価だと考えております。26年度は休館日を減らし、開館日を増やす予定となっております。これにより、更なる利用機会拡大とサービスが提案できると考えております。</p> <p>市民の方に支持され続ける運営を、次年度も展開していきたいと考えております。</p>	<p><市民サービスの向上></p> <p>自主事業収入が増加していることは、市民へのニーズが取り入れられた事業内容だと思えます。</p> <p>今後も、自主事業や新規事業を開催し市民サービスに心掛けてください。</p> <p>また、平成26年度は休館日を減らし開館日を増やす予定となっていることから、周知に努め利用者数増加につなげてください。</p> <p><経費削減の取組></p> <p>光熱水費の値上げ等により、前年度より増加となっておりますが、節減を徹底し無駄な支出を抑えるよう、今後も努力を続けてください。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価></p> <p>自主事業が充実し、利用者が増加していることは、多くの市民のニーズに対応したプログラムとなっていることなので、今後も節減等に徹しながら続けてください。</p>	A
シンコースポーツ・ア ズビル・東京体育機器 共同事業体					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「体育施設」 市民プール	平成24年4月1日～ 平成27年3月31日 (3年間)	教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係	<p>利用者数は前年度に比べて2,275名の減となりました。要因としては、平成24年10月から12月まで羽村市のプール施設が改修休館となっていたため、同年の利用者が特異な増加となった反動によるものと国体の開催、ヒートポンプ更新工事による臨時休館、2月の降雪による影響と考えられます。平成23年度と比較すると15,000名以上の増加を達成している。自主事業は、利用者の意見を取り入れ新たな自主事業教室の展開、各種イベントの実施、屋外プール無料開放を行いサービス向上に努めました。</p> <p>支出面は利用者の方のご協力により節水節電を実施して、電気使用量前年比88.5%と削減することができました。今後もこまめな消灯を心がけ節水節電に努めてまいります。</p> <p>スタッフのスキル向上のためにプール安全研修会・水泳指導研修会を実施し、安全・安心な施設運営を行いました。</p>	<p><市民サービスの向上> 自主事業による参加者の増大と障がい者を対象とした教室を開催するなど幅広く市民のニーズに対応されたプログラムを取入れていると感じます。 今後も、より良い市民サービスを心掛けてください。</p> <p><経費削減の取組> 電気使用量は、ヒートポンプの工事により節減ができていますので、今後も駆動時間や施設内の適正な温度管理を心掛けてください。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 年間を通しては、利用者数は減りましたが、これは、平成24年度に羽村市のプール施設の改修工事によりプールの利用者数が特異な増加となった反動によるものと工事や国体の開催、また降雪による影響と思われます。 自主事業では、利用者の意見を取り入れた新たな教室やイベントを実施した結果、利用者の増大になったことだと思われます。 また、節水節電に努めており、スタッフのスキル向上のための安全研修や水泳指導研修会などを実施し安全安心な施設運営を行っているため、今後も続けて努力を行ってください。</p>	A
シンコースポーツ・ア ズビル共同事業体					

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。

平成25年度 モニタリング結果 施設別評価一覧

施設名 指定管理者	指定期間	所管部署	指定管理者の評価 (※)	所管課による評価 (※)	総合評価 (※)
「体育施設」 秋川体育館 「公民館」 中央公民館 あきる野市体育・文化 施設運営事業体	平成25年4月1日～ 平成30年3月31日 (5年間)	教育部 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係 公民館係	<p>利用状況では、今年度の総利用者が228,295名となり、前年に比べ15,869名の減少となりました。体育館の個人は増加、団体は減少、公民館は増加しました。減少の大きな要因として、9月の国体に伴う臨時休館、11月の防災訓練に伴う臨時休館、2月の大雪に伴う影響が挙げられます。増加の要因として、体育館の個人は自主事業教室との相乗効果が有り、公民館は新規団体が増えて一日あたりの利用件数が増加しました。</p> <p>収支状況では、収入面で特に自主事業収入が目標を下回ってしまいました。施設のPR及び教室事業の充実度を向上させ、収入の増加に努めて参ります。支出面は各項目を計画値内に抑えることができました。今後も節電を中心とした省エネ及び業務のマルチジョブ化を継続していきたいと考えています。</p> <p>総括として、利用者が安心・安全に利用できる快適な施設運営を心掛けた結果、1年間大きな事故も無かったことです。</p> <p>平成26年度の課題は、平成25年度に比べて利用者数の増加、収支状況の改善を行うと共に、計画に対する達成率の向上を目指した運営を展開していきたいと考えています。</p>	<p><市民サービスの向上> 障がい者への筆談対応、トレーニングマシンの全て新しく入替え、トレーニング室へのトレーナーの常日配置や開館日の拡大などスポーツを行う積極的な環境づくりの対応については、評価いたします。 今後も市民のニーズにあわせた市民サービスに努めてください。</p> <p><経費削減の取組> 開館日の拡大により、光熱水費が増加するところ、最小限に抑えるなど節減を徹底し、対応されていました。 今後も、節減を徹底し努力を続けてください。</p> <p><指定管理者の管理に係総括的な評価> 収支では、初年度での初期投資等や自主事業の実施が半分程度の実施となったため、マイナスの決算となっていますが、次年度では、自主事業について年間を通して開催し、収入の増加に努めるとともに、市民へのサービスレベルを低下させることのないよう、今後も、スポーツを行える環境整備や光熱水費の節減などを続けてください。</p>	B

※評価の内容については、モニタリング結果報告書から転記しています。